

施策番号	0103		
施策名	ごみを出さない循環型社会の構築		
概要	循環型社会の構築のために、ごみを出さない2Rの定着、ごみの分別や適正な排出、資源物の回収及び廃棄物発電など、ごみの減量と再利用を促進する。		
担当局・部室	環境政策局・循環型社会推進部、適正処理施設部	共管局・部室	
上位政策	1 環境		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市環境基本計画2016～2025, 京都市循環型社会推進基本計画（2015～2020）		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)	b	a	860	817	836	102.3%	a	1.00
2	ごみ焼却量(トン)	-	-	43.5万	41.2万	42.1万	102.1%	a	1.00
3	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)	a	a	377	382	370	103.2%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	マイバッグやリサイクル製品など、ごみを出さないようなくらしと事業活動が広がっている。	a	a	159 31.4%	244 48.2%	81 16.0%	12 2.4%	10 2.0%	506
2	ごみを分別して出せる拠点が身近にあり、ごみのリサイクルが進んでいる。	a	a	153 30.1%	209 41.1%	90 17.7%	38 7.5%	18 3.5%	508
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		a	a	市民生活実感調査総合評価					a

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	a		
(重み付けの理由) ごみの発生抑制や再利用、資源物の回収及びエネルギー回収等、すぐには市民の実感につながりにくい部分が多いため、客観指標に重みを置く。						27 年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b 評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 <input type="checkbox"/> c 評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> b 評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 <input type="checkbox"/> c 評価以下であり、次の原因が考えられる。						26 年度	A

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	使用済てんぷら油の市民回収奨励事業	33,556	38,113	普通	環境政策局
2	リユースびん(リターナブルびん)等の拠点回収	22,233	24,046	普通	環境政策局
3	蛍光管拠点回収事業	15,238	14,946	良い	環境政策局
4	生ごみ・落ち葉の堆肥化等の活動支援	13,479	16,646	良い	環境政策局
5	資源物回収拠点の設置	71,521	41,383	かなり良い	環境政策局
6	家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業	17,076	20,436	良い	環境政策局
7	ごみ減量推進会議の活動の支援	71,362	72,279	良い	環境政策局
8	環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」	9,711	10,473	良い	環境政策局
9	小型家電リサイクル事業	18,382	18,280	かなり良い	環境政策局
10	イベント等のエコ化の推進	27,695	25,066	かなり良い	環境政策局
11	マイボトル推奨等サポート事業	6,919	6,958	普通	環境政策局
12	生ごみ減量推進事業	43,270	44,903	良い	環境政策局
13	資源物の持ち去り禁止等啓発パトロール	8,387	9,096	良い	環境政策局
14	移動式拠点回収事業	27,962	32,195	かなり良い	環境政策局
15	産業廃棄物に関する社会意識の高揚	27,522	19,950	悪い	環境政策局
16	京都環境保全公社への府市協調支援	1,215,035	1,040,549	かなり良い	環境政策局
17	大岩街道周辺地域対策(岡田山撤去関連事業等)	35,522	43,268	良い	環境政策局
18	廃棄物排出事業者指導業務(産業廃棄物)	58,181	69,870	普通	環境政策局
19	コミュニティ回収等の集団回収事業	65,788	71,543	普通	環境政策局
20	観光トイレ制度	20,995	28,780	良い	環境政策局
21	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	200,852	199,029	良い	環境政策局
22	せん定枝の分別・リサイクル推進モデル事業	0	5,885	—	環境政策局
23	し尿前処理施設再整備事業	0	76,222	—	環境政策局
24	南部クリーンセンター第二工場建て替え整備事業	1,162,758	8,942,328	—	環境政策局
25	埋立処分地整備事業	269,587	217,624	—	環境政策局
26	焼却灰のセメント原料化の試行実施	0	20,317	—	環境政策局
27	バイオマス活用の推進	36,035	32,732	—	環境政策局
28	「新・京都市ごみ半減プラン」の進ちょく管理	94,501	62,137	—	環境政策局
29	食品ロス・レジ袋削減等2R推進事業～ごみになるものを作らない・買わない「リデュース」と繰り返し使う「リユース」の推進～	0	48,306	—	環境政策局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・「2R」と「分別・リサイクルの促進」の2つを柱とするとごみ減量施策を推進し、資源・エネルギーの有効利用と環境負荷の低減、さらには「もったいない」や「しまつ」といった京都らしいライフスタイルなどの定着を図り、市民、事業者とともに、全国のモデルとなる持続可能な循環型社会の構築に取り組む。

・クリーンセンターの施設保全計画を更新し、適切な補修等の整備を行うことで、安定したごみ焼却を行い、発電効率の向上に努める。

・以上のことにより、客観指標の目標達成と市民生活実感の維持、更なる向上を図り、ごみを出さない循環型社会の構築を推進する。

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
-----	------	-----------------	--	--	--	--

指標名	一人一日当たりのごみの排出量（グラム）					
-----	---------------------	--	--	--	--	--

担当課	ごみ減量推進課	連絡先	2 1 3 - 4 9 3 0			
-----	---------	-----	-----------------	--	--	--

1 指標の説明

一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	860	817	43グラム減	836	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	102.3%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		730グラム	32年度	88.1%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）

備考

平成27年3月に策定した「京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）」に基づき、中長期目標を変更した。

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0グラム以下
b：0グラム超～15グラム以下
c：15グラム超～30グラム以下
d：30グラム超～44グラム以下
e：44グラム超

6 基準説明

当年度の目標値（836グラム）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ量（880グラム）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約15グラム間隔）で基準を設定

7 評価結果

26	27	28
b	a	a

1 指標の説明

クリーンセンターにおけるごみの焼却量

2 指標の意味

循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用（2R）」と分別・リサイクルの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	43.5万	41.2万	2.3万トン減	42.1万	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	102.1%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
				根拠	
数値		35万トン	32年度	82.3%	京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）

備考

平成27年度に策定した「京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）」に基づき、中長期目標を変更した。

5 評価基準

最新値－目標値が、
a：0トン以下
b：0トン超～0.6万トン以下
c：0.6万トン超～1.2万トン以下
d：1.2万トン超～1.9万トン以下
e：1.9万トン超

6 基準説明

当年度の目標値（42.1万トン）を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度（平成25年度）のごみ焼却量（44万トン）を超えた場合をeとし、b～dは等間隔（約0.6万トン間隔）で基準を設定

7 評価結果

26	27	28
-	-	a

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	ごみ1トン当たりの発電量(kWh/t)					
担当課	施設管理課		連絡先	2 1 2－9 8 2 0		
1 指標の説明						
クリーンセンターにおけるごみ1トン当たりの焼却熱等による発電量						
2 指標の意味						
「適正処理とエネルギー回収の最大化」に向けて、ごみ1トン当たりの発電量を高め、天然資源の消費抑制を図る取組を示す指標						
3 算出方法・出典等						
算出方法：全クリーンセンターにおける発電量÷焼却量 出典：事業担当課調べ						
4 数値						
	前回数値 26年度	最新数値 27年度	推移	目標値		
				数値	根拠	達成度
数値	377	382	5(kWh/t)増	370	今後の焼却等処理量及び処理施設における技術の発展を踏まえ、平成32年度に目指すべき値（450kWh/t）に対する当年度の計画値	103.2%
	全国順位	中長期目標				備考 平成27年度に策定した「京都市循環型社会推進基本計画（2015-2020）」に基づき、中長期目標を変更した。
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		450kWh/t	32年度	84.9%	京都市循環型社会推進基本計画＜2015－2020＞で掲げるごみ量等の目標数値から設定	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：90%以上 b：90%未満～80%以上 c：80%未満～70%以上 d：70%未満～60%以上 e：60%未満						
6 基準説明						
全クリーンセンターにおける発電量を焼却量で除した値で評価する。発電量はごみ質により影響を受けるほか、各クリーンセンターの発電効率は均一ではないため、目標の90%以上を達成したときをaとし、60%未満をe、b～dは等間隔で基準を設定した。						
7 評価結果						
26		27		28		
a		a		a		